

【2013】 大問3「中国の諸王朝における儒教と官吏登用制度」 (高2・進研・1月)

問1. 殷・周時代の中国

- (ア) 殷の政治制度は祭政一致の[①]。
・ 律令制度は[②]時代。
- (イ) 殷では、占いの結果は[③]に刻まれた ⇒ 刻まれた文字が甲骨文字
・ 粘土板は古代メソポタミアで[④]を記すのに使われる。
・ アッシリア帝国の都ニネヴェに[⑤]が大図書館。
- (ウ) 周の都は[⑥](現在の西安付近) ⇒ 洛邑(現在の洛陽付近)
・ 異民族；[⑦]の侵入により洛邑に遷都して東周となり、春秋時代が始まった。
- (エ) 周では王と臣下の間に土地を仲立ちとした[⑧]が行われた。
・ 封土の見返りとして諸侯は主君に軍役と貢納の義務を負った。
・ 中世ヨーロッパは[⑨]。周代封建制は[⑩]と説明されることが多い。

問2. 諸子百家

- 史料から無差別平等の愛を説く思想が読み取れる ⇒ 「[⑩]」
・ [⑪]…兼愛の他、交利(兼愛は結果的に互いの福利を増進する)・非攻(侵略行為を否定)を唱えた。
- (ア)道家 …老子・荘子が主張した。自然の原理に従って生きる[⑫]を主張。
- (ウ)法家 …礼を無力として法治主義を主張。
・ [⑬]…秦の孝公に仕えて変法という富国強兵策を実施した。孝公の死後に反対派により自分が制定した車裂きの刑で処刑された。
・ [⑭]…秦王政(始皇帝)に仕えて法家思想で中国統一を果たした。しかし2世皇帝の時、刑死した。
- (エ)陰陽家…天体の運行と人間生活の関係を説く。
・ [⑮]…陰陽説と五行説を集大成したと言われる。

問3. 始皇帝の地方支配

- [⑯]…始皇帝が全国に施行した中央集権的な地方統治制度。
・ 全国を「郡」に区分し、その下に県を置いて中央から役人を派遣して統治させ、中央集権化を図った。
- [⑰]…前漢高祖劉邦が施行した地方制度。秦の郡県制強行の失敗と封建制復活の傾向を配慮して、直轄地には郡県制を、地方には一族・功臣を諸侯として封じる封建制を併用した。
- [⑱]…隋唐時代に確立された地方行政区画制度。従来の郡を廃止して全国を州に分け、州・県の長官を中央から派遣した。

問4. 中国の官吏任用制度

- [⑲](漢)
・ 前漢[⑳]が施行。地方長官の推薦による。豪族が官職を独占。
- [㉑](魏晋南北朝)
・ 魏の[㉒]が施行。中正官の推薦による。上級貴族が官職を独占。
- [㉓](隋～清)
・ 隋の文帝(㉔)が施行。貴族政治を打破するため、家柄を問わず男子なら受験可。隋唐時代まで[㉕]を握る貴族を排除できず。宋の太祖(㉖)による最終試験[㉗]の創設で初めて君主独裁の支柱となる。元は科挙を実施せず。明の[㉘](朱元璋)は朱子学を官学とする。清は科挙を通じて漢人も積極的に登用(満漢偶数官制)。[㉙]後に科挙廃止。

問 5. 後漢時代

(ア) 後漢は[30]による西域経営を積極化した。

・[31]…91年和帝より西域都護に任じられ、50か国を服属させ、後漢の力を西域に及ぼした。

(イ)後漢時代、宦官が官僚を弾圧したのは[32]。

・[33]…北宋末期の1126年に金が開封を占領し、1127年に欽宗・徽宗が連行され、北宋が滅亡した事件。

(ウ)後漢時代、大秦王安敦の使者が訪れたのはベトナム中部の[34]。

・大秦王安敦は[35]

(エ)張角を教祖とする太平道が主力となった農民反乱は[36]。

・赤眉の乱は、[37]滅亡の契機となった農民反乱。

問 6. 晋の滅亡要因

司馬炎は一族を各地の王に封じて帝室の守りとする → 皇帝の後継者争いである[38]が勃発

↓

各王は兵力として五胡を利用 → 五胡が華北に侵入する → 匈奴の[39]により滅亡。

問 7. 唐と貴族

○唐の中央行政機関 ⇒ 三省…中書省・門下省・尚書省

・中書省…詔勅(皇帝の行政命令)を作成する機関

・[40]…詔勅の審議。不適切な詔勅に対する拒否権(41)を有していた。→貴族勢力が皇帝権力に対して持っていた牽制力

・尚書省…六部を統括して、詔勅の実施に当たる。

問 8. 宋と周辺諸国

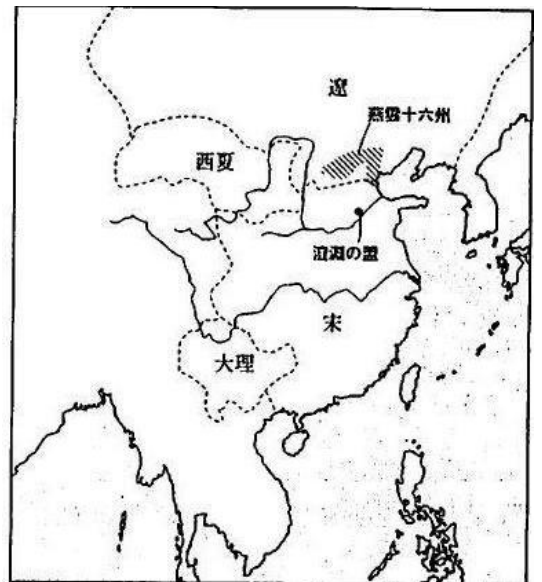
A : [42]…チベット系タングート族の李元昊が建国。宋と慶暦の和約を結び、銀・絹・茶の貢納を約束させた。1227年にチンギス=ハンに滅ぼされた。

B : [43]…雲南に白蛮系豪族が建てた国。宋に入貢したが、モンゴルのフビライに征服されて滅んだ。

イ : 宋と[44]を結んだのは[45]。

[46]が建国し燕雲十六州を支配したが、

[47]が建国した金に滅ぼされた。



問 9. 宋代科挙

○宋代の科挙は三段階制が確立

・ 地方試験の州試 → 中央の礼部で省試 → 皇帝自ら出題する[48]

※ 皇帝に忠実な高級官僚が輩出された。

問 10. モンゴル帝国

(エ) マルコ=ポーロが口述筆記したのは、『49』

・『三大陸周遊記』を記したのはモロッコ生まれの[50]。